

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第3期北秋田市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

秋田県北秋田市

3 地域再生計画の区域

秋田県北秋田市の全域

4 地域再生計画の目標

本市は、秋田県北部中央に位置し、面積は1,152.76平方キロメートルと、秋田県全体の約1割を占める広大な面積の中に、花の百名山・日本三大樹氷観賞地として名高い「森吉山」、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産で、令和3年7月にユネスコ世界文化遺産として登録された「伊勢堂岱遺跡」、世界一の大きさを誇る「綴子大太鼓」、マタギ文化等の資源が点在している。

産業は、稲作を中心とした農業や、木材・木製品、窯業・土石製品等の製造業、医療・福祉が主な産業で、産業別就業人口（令和2年国勢調査）では第三次産業が約6割を占めている。

アクセス網として、JR奥羽本線、秋田新幹線のおおる角館を結ぶ秋田内陸縦貫鉄道、東京便が定期便として運航されている大館能代空港、さらには空港と直結する日本海沿岸東北自動車道も開通しており、陸路・空路・鉄路とアクセス網が充実している。

本市の総人口は、平成27年度には33,224人だったが、令和2年度には30,198人と減少し、住民基本台帳によると令和7年12月末には27,155人となっている。

また、令和2年国勢調査確定値（総人口30,198人）をもとに、国立社会保障・人口問題研究所が令和5年4月に行った準拠推計によると、第3次北秋田市総合計画推進期間（令和8年から令和12年）及び令和17年以降も総人口は減少推移が続き、令和52年には7,810人まで減少することが見込まれる。

年齢3区分別人口の推移をみると、平成27年度から令和2年度にかけて年少人口（0～14歳）は2,932人から2,437人、生産年齢人口（15～64歳）は16,723人から14,260人と減少しており、老年人口（65歳以上）は13,457人から13,438人とほぼ横ばいとなっている。令和52年には、総人口7,170人のうち0～14歳の割合4.5%、15～64歳の割合34.4%、65歳以上の割合61.1%となることが見込まれており、人口構造の推移が総人口に対する65歳以上の人口割合が増加する一方で、15歳未満及び15～64歳の人口割合が減少し、少子高齢化が進行すると見込まれる。

自然動態をみると、死亡数が出生数を上回る自然減の状態が続いており、令和6年度には▲605人の自然減となっている。

社会動態をみると、転出数が転入数を上回る社会減の状態が続いており、令和6年度には▲161人の社会減となっている。

本市の人口減少の主な原因は、出生率の低下による少子化及び若い世代の市外への流出であり、人口減少により、地域経済の成長や行財政基盤の弱体化、地域コミュニティの維持や子どもの健全育成への影響等、将来の地域社会の姿に大きく影響を及ぼすことが懸念される。

これらの課題を克服するため、若い世代の定着やふるさと回帰の促進など、人口の流入を促す施策の実施し、市民一人ひとりが主体的に関わり合い、世代や背景を超えて協力し合うことで、だれもが安心して幸せに暮らせる持続可能なまちを形づくっていくため、本計画期間中、次の基本目標を掲げ、施策を推進する。

- ・基本目標1 年齢や性別を問わず、希望を持って安心して暮らせる生活環境の創生
- ・基本目標2 豊かな自然や文化など地域資源を最大限活用した高付加価値・高効率型の事業創出
- ・基本目標3 都市や世界とつながり続けることで関係人口とふるさと回帰を創出

【数値目標】

5-2の①に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (令和12年度)	達成に寄与する地方版総合戦略の基本目標
ア	市内の医療体制について整っており満足している市民の割合【単年】	54.4%	60.0%	基本目標 1
	市民病院の常勤医師数【累計】	22.3人	24.5人	
	北秋田市民病院満足度【単年】	95.7%	98.0%	
	民生委員・児童委員の充足率【累計】	83.3%	100.0%	
	自分のことを健康だと思う市民の割合【単年】	63.3%	70.0%	
	特定健康診査受診率【累計】	38.2%	40.0%	
	だれも相談する人がいないと回答する市民の割合【単年】	11.5%	10.0%	
	結婚支援事業申請者数(結婚支援センター登録・結婚祝金等申請者数)【単年】	47人	47人	
	子育て中の母の気持ちや体調がよい割合【単年】	76.1%	82.0%	
	子育てしやすいまちだと答えた市民の割合【単年】	65.2%	75.0%	
	子育てに関して気軽に相談できる人がいる保護者の割合【単年】	69.4%	76.0%	
	介護予防事業への参加者数【単年】	2,449人	2,450人	

認知症サポーター養成講座受講者数【累計】	4,997人	5,960人
福祉施設入所者数【累計】	124人	117人
精神障がい者における障害福祉サービス種別の利用者数【累計】	82人	92人
福祉施設から一般就労への移行者数【累計】	20人	44人
管路更新率【累計】	—	100.0%
汚水処理人口普及率【累計】	84.5%	92.2%
水道料金収納率【単年】	99.3%	99.5%
下水道使用料収納率【単年】	98.9%	99.0%
空き家バンク新規登録件数【累計】	52件	82件
耐震化事業の周知回数【累計】	3回	60回
主要路線の舗装補修延長【累計】	1,124m	8,440m
早期措置段階の橋梁補修数【累計】	6橋	22橋
浚渫河川数【累計】	6河川	20河川
公共交通の利便性を理由に利用していない人の割合【単年】	42.6%	37.0%
秋田内陸線の年間利用者数【単年】	226,690人	247,000人
大館能代空港利用者数【単年】	194,655人	254,000人
秋田内陸線の年間利用者数【単年】	226,690人	247,000人
1日1人あたりのごみの排出	932.0g/	872.7g/人・日

	量【単年】	人・日		
	総資源化率【単年】	14.5%	26.1%	
	不法投棄件数【単年】	68件	44件	
	節電・節水に取り組んでいる人の割合【単年】	61.4%	90.0%	
	交通事故（人身事故）件数【単年】	24件	対前年比で減少 (\)	
	交通指導隊、防犯指導隊の隊員数【単年】	61人	72人	
	犯罪件数（刑法犯認知件数）【単年】	49件	対前年比で減少 (\)	
	消費者問題に関する意識啓発活動の実施件数【累計】	7件	15件	
	救命講習を受講したことがある市民の割合【単年】	56.4%	60.0%	
	自主防災組織の結成数【累計】	52団体	70団体	
	災害に備えて何かしら準備している市民の割合【単年】	62.6%	68.6%	
	消防団充足率【累計】	81.6%	90.0%	
	住宅用火災警報器の設置率【累計】	83.8%	95.0%	
イ	農地集積率【累計】	85.0%	90.0%	基本目標 2
	比内地鶏飼養羽数【累計】	79,100羽	100,000羽	
	新規就農者数【累計】	19人	61人	
	主な園芸作物 [※] 販売額（主要6品目）【累計】	294百万円	474百万円	
	路網延長（林道及び林業専用道等）【累計】	7.90m/ha	8.27m/ha	

造林面積【累計】	2,331ha	4,731ha
行政による建築物等における 木材利用件数【累計】	29件	59件
林業就業者数【累計】	176人	対前年比で増加 (7)
新規出店件数（市街地賑わい 再生支援事業）【単年】	2件	2件
北秋田市継業バンク登録事業 者数【単年】	2事業者	2事業者
新商品開発事業者数・首都圏 等物産展出展事業者数【単年】	2事業者	8事業者
森吉山県立自然公園入込数 （延べ人数）【単年】	61,000人	63,000人
市内イベント及び文化施設観 光入込客数【単年】	43,047人	50,000人
市内宿泊施設の宿泊客数（延 べ人数）【単年】	41,644人	47,000人
市内の道の駅の観光入込客数 【単年】	444,454人	750,000人
北秋田視察企業数【単年】	2企業	3企業
市内企業等の投資件数【単年】	1件	1件
フレッシュアーズ応援事業利用 者数・外国人材受入支援補助 金活用人数【単年】	10人	30人
資格取得支援助成金件数【単 年】	65件	65件

ウ	県学習状況調査通過率で県平均を上回る教科数（4学年17教科中）【単年】	9科目	12科目以上	基本目標3
	不登校児童生徒のうち、全く学校に出席できておらず、関係機関等からの働きかけにも応じていない児童生徒の割合【単年】	22.2%	10%±	
	県学習状況調査において「自分にはよいところがある」と回答した児童生徒の割合【単年】	32.2%	50.0%	
	全市一斉「春のクリーンアップ」への児童生徒の参加率【単年】	19.9%	対前年比で増加 (ア)	
	普段の授業においてコンピュータなどのICT機器を使用する割合【単年】	74%	80%以上	
	公民館等が開設した講座数【単年】	75件	75件	
	公民館等を利用した人数【単年】	142,471人	142,500人	
	学校活動以外の体験学習や発表の場の開催回数【単年】	75回	75回	
	週1回以上運動をする人の割合【単年】	41.2%	53.0%	
	合宿補助金の交付件数【単年】	3件	5件	
	地域展開が完了した部活動の	—	50.0%	

割合【累計】		
スポーツの満足度【単年】	58.0%	70.0%
伊勢堂岱遺跡を見学したことのある市民の割合【単年】	39.6%	42.0%
伊勢堂岱遺跡へのツアー参加者人数【累計】	1,370人	1,520人
有形文化財(「金家住宅」・「旧長岐家住宅」等)を公開した回数【累計】	8回	12回
市内の伝統芸能等の活動を行っている団体数【単年】	17団体	17団体
浜辺の歌音楽館や浜辺の歌音楽館のイベントに行ったことのある市民の割合【単年】	—	9.0%
地域が住みやすいという市民の割合【単年】	65.2%	71.4%
活発に活動が行われている自治会等の割合【単年】	57.8%	68.4%
地域活動に何か参加している市民の割合【単年】	59.0%	73.8%
市ホームページの年間アクティブユーザー数【単年】	471,914人	471,914人
市公式 SNS のフォロワー数 (Instagram、X、Facebook、LINE) 【単年】	6,754人	20,622人
「市広報紙・市ホームページ・市公式 SNS」の市政情報発信について、取得に関して満足している市民の割合【単年】	—	83.7%

友好交流都市との交流事業数【単年】	13 事業	23 事業
オンライン申請の種類【累計】	68 種類	200 種類
キャッシュレス決済可能なオンライン申請の種類【累計】	—	25 種類
文章生成AIを活用する一般行政職員の割合【累計】	41.2%	100.0%
情報セキュリティインシデント発生回数【単年】	0 回	0 回
実質公債費比率【累計】	8.3%	11.1%
将来負担比率【累計】	42.1%	85.0%
債権等（市税・負担金・使用料等）収納率【単年】	98.9%	99.0%
ふるさと納税寄付額【単年】	1,434 百万円	2,000 百万円
市役所職員の窓口や電話での対応が良いと答えた市民の割合【単年】	59.9%	対前年比で増加 (△)
市の審議会、委員会等の女性参画率【単年】	30.7%	40.0%
男性の家事・介護・看護・育児にかける時間数の割合【単年】	27.1%	30.0%
市役所による女性管理職の割合（各年度4月1日現在※消防本部除く）【単年】	24.7%	28.0%
市役所における男性職員の育児休業の取得割合【単年】	14.3%	35.0%
移住相談者数【単年】	133 人	133 人
空き家バンク新規登録件数【累計】	52 件	82 件

	テレワーク・ワーケーション 実践件数【単年】	10 件	10 件	
--	---------------------------	------	------	--

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第3期北秋田市まち・ひと・しごと創生推進計画

- ア 年齢や性別を問わず、希望を持って安心して暮らせる生活環境の創生事業
- イ 豊かな自然や文化など地域資源を最大限活用した高付加価値・高効率型の事業創出事業
- ウ 都市や世界とつながり続けることで関係人口とふるさと回帰を創出事業

② 事業の内容

- ア 年齢や性別を問わず、希望を持って安心して暮らせる生活環境の創生事業

地域医療体制の充実、北秋田市民病院の充実、地域福祉を担う人材の育成、健やかな生活習慣形成の促進、疾病予防・重症化予防、健康づくり推進のための地域等との連携、若者の多様な選択をかなえる支援、妊娠・出産・産後支援の充実、あらゆる子どもの年齢に応じた子育て支援、地域・社会全体で子育てを支える意識・環境づくり、高齢者の生きがいと活躍できる機会の創出、地域での高齢者の生活を支える包括ケアシステムの推進、介護保険制度の安定的運営、あらゆる障がい者が自分らしく生活できる支援の充実、障がい者の活躍を応援する自立と社会参加の推進（以上、基本目標2）、安心・安全な基盤整備、経営の健全化、快

適かつ安心・安全な住環境の整備、冬季期間の除雪対策、インフラ施設の効率的な維持管理、公共交通の維持・確保と利便性向上、国内外からの誘客に向けた交通ネットワークの利用促進、ごみの減量とリサイクルの推進、環境保全活動の推進、再生可能エネルギーの導入促進、交通安全対策の推進、地域防犯対策の強化、消費者トラブルの防止に向けた啓発、ツキノワグマによる被害防止対策の強化、互助による救急・災害対応への啓発と仕組みづくり、消防・救急体制の充実を図る事業（以上、基本目標4）。

【具体的な事業】

- ・地域医療確保促進事業
- ・介護保険事業
- ・母子保健事業
- ・ハッピーアニバーサリー事業
- ・市民提案型まちづくり事業
- ・災害時必要物資備蓄事業
- ・自主防災組織活動支援事業 等

イ 豊かな自然や文化など地域資源を最大限活用した高付加価値・高効率型の事業創出事業

生産基盤の整備、多様な担い手の育成・確保、経営基盤の強化、森林整備環境の向上、森林保全と育成の推進、専門人材育成と担い手確保、商店街のにぎわい創出、地域産業の後継者確保と事業承継、地場製品の新たな価値創出とPR強化、森吉山の四季を生かした観光誘客の促進、観光地域づくりの推進と観光情報の発信強化、滞在型観光の推進による観光消費の拡大、観光関連施設の魅力向上、新たな業態・産業の誘致、既存事業所の拡大支援、安定した経営基盤の確保、再生可能エネルギーの導入促進を図る事業（以上、基本目標1）。

【具体的な事業】

- ・農業次世代人材投資事業
- ・林業就業者の育成・確保事業
- ・道の駅施設整備事業

- ・森吉山阿仁スキー場事業
- ・北秋田市事業承継支援事業
- ・ホテル誘致推進事業
- ・外国人材受入促進事業 等

ウ 都市や世界とつながり続けることで関係人口とふるさと回帰を創出事業

基礎学力の定着と学力向上、一人ひとりの子どもに寄り添った教育の充実、地域資源を活かした特色ある学校づくりとふるさと教育の推進、安心・安全で快適な教育施設の整備・充実、市民一人ひとりの生涯を通じた学習の支援、スポーツ活動の推進及び機会の提供、スポーツ環境の基盤整備、伊勢堂岱遺跡の保存・活用、有形文化財の保存・活用及び無形文化財の保護・継承、文化の振興（以上、基本目標3）、地域コミュニティの活性化支援、広報・広聴の充実、広域連携と多様な主体との協働、住民サービスの向上と業務効率化に向けたDXの推進、持続可能な行財政の運営、職員の人材育成とエンゲージメントの向上、人権尊重社会の形成、男女共同参画の推進、移住・定住の情報発信、空き家の移住・定住への活用、シティプロモーションを図る事業（以上、基本目標5）。

【具体的な事業】

- ・総合学習補助事業
- ・ICT学習環境整備事業
- ・図書館事業
- ・国立市文化交流事業
- ・移住者住まい応援事業
- ・関係人口創出・拡大事業
- ・サテライトオフィス・移住プロモーション事業 等

※なお、詳細は第3次北秋田市総合計画のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

300,000千円（2026年度～2030年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度、3月末時点でのKPIの達成状況を踏まえた自己分析（内部評価）を担当部署で行うとともに、毎年度7月頃に外部有識者等で組織する本市総合戦略検証会議での客観的分析（外部評価）を行って必要な計画の見直し等を行う。検証後は速やかに本市公式ホームページ等により公表する。

⑥ 事業実施期間

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで

6 計画期間

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで